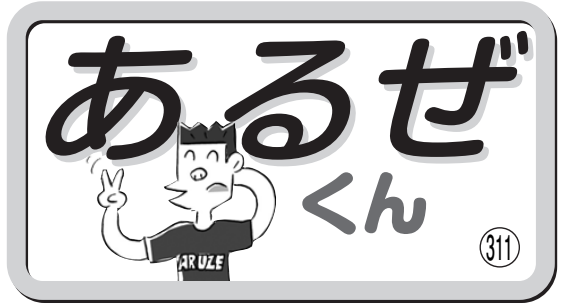




アルゼ株式会社に勤務するあるぜくんは、好奇心旺盛で向上心も人一倍。そしてもっと多くの人にアルゼのことを知ってもらいたいと頑張っています。



国富が失われてゆく…②

石油の高騰を受けて、省エネ・環境・新エネルギーの技術革新の競争が世界的に行われており、各国から「技術立国日本」の省エネ技術が期待されている。しかし、世界での競争の中で日本の外交と行政施策はあまりにも無策であり、それどころか逆行しているようにしか思えない。日本人の技術的努力により、日本国民が経済的に豊かになれるのだろうか、とあるぜくんは疑問に思う。

各国は、国としての利益の獲得に努力している。投機マーケットなどの国際金融戦略を行っているアメリカ。石油や希少金属などの資源利用を戦略としているロシア、ブラジル。中国やフィリピンは、豊富な人材の低賃金労働による物作りや海外就労で外貨の獲得を図っている。日本が世界に誇れるものの一つは、技術力だろう。だが、その技術力は、果たして国益に反映されているのだろうか。日本は、海外に比べて特許を

取得するのが難しいと言われている。それだけ慎重に審議されている。だが、苦勞して登録した特許がいつでも無効審判にかけられ、無効にされることがある。ちなみに中国には、日本国内で審査中の特許や、無効になった日本企業の特許発案を見直し、中国国内で特許化しているチームがいると聞く。とすれば、日本で開発した技術

やアイデアが使われ、簡単に商品化されてしまっていることになる。日本の技術が海外できちんと評価されるよう努力し、その評価を日本の国益として大切にしなくてはならない。

日本の民事訴訟は、国内企業同士の競争の仲裁を主にして甘い判断がなされている。裁判官は、日々の膨大な業務に振り回され、事件に真

剣に向き合うよりも、ただ案件をこなすことに注力している。裁判官も政治家も国民に対して本気で考えているのだろうか。本気になって考えなければ責任を持つことはできない。国民に対して本気で考え、本気で実行する政治ではないか、と感じるあるぜくんであった。



イラスト……山本ミノ

最新機種情報はアルゼ王国 (一部非対応機種有り) サイトへアクセス!!

懐かしのヒーロー登場!!

月額情報料 315円(税込) ※別途/バケット通信料がかかります。 ©2008 ARUZE MEDIA NET CORP. ©2008 ARUZE CORP. ※QRコードは、株式会社デンソーウェアの登録商標です。

アルゼ株式会社